



函館建設管理部

事業一覧および事業箇所図は函館建設管理部の社会資本整備に関する
 アカウンタビリティのページにて公表します。（6月公表予定）
<https://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/kk/hkk/a0006/b0001/>



函館建設管理部の概要

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

《概要》

函館建設管理部が所管する渡島・檜山管内は、温暖な気候、豊かな農水産物、そして世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する垣ノ島遺跡・大船遺跡をはじめとする歴史・文化遺産など、様々な魅力に富んだ地域です。

函館建設管理部では、こうした魅力を活かした地域づくりを進めていくため、広域道路ネットワークの構築を推進しながら、物流ネットワークの形成を促し、交流人口の拡大による地域の活性化を進めていくとともに、地域の生活道路となっている道道の維持・整備に取り組んでいます。

また、近年全国各地で水害や土砂災害が頻発化・激甚化する中、渡島・檜山管内においても、令和4年6月から8月にかけて記録的な大雨が繰り返し観測され、家屋の浸水や農地・道路の冠水が発生するなど、住民生活や社会活動に大きな影響が生じたところであり、災害に強い地域づくりに向けた取組がより一層重要になっています。

このため、函館建設管理部では、住民の生命・財産・暮らしを守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の推進に取り組むとともに、気候変動による水害の激甚化・頻発化に対応するため、ハード・ソフト対策が一体となり、あらゆる関係者が協働して対策を行う「流域治水」の取組を推進し、河川堤防や砂防関係施設、海岸保全施設の整備などを行っています。

また、地域間の連携や快適な広域観光を支える交通・物流ネットワークの形成を図り、都市の円滑な交通を確保するための道路・街路整備事業に取り組んでいます。

さらには、道民生活や経済活動を支える社会資本の機能が低下しないよう、施設の長寿命化を図り、必要な機能が適正に発揮されるよう、社会資本の老朽化対策に取り組み、安全・安心な暮らしの確保に努めてまいります。